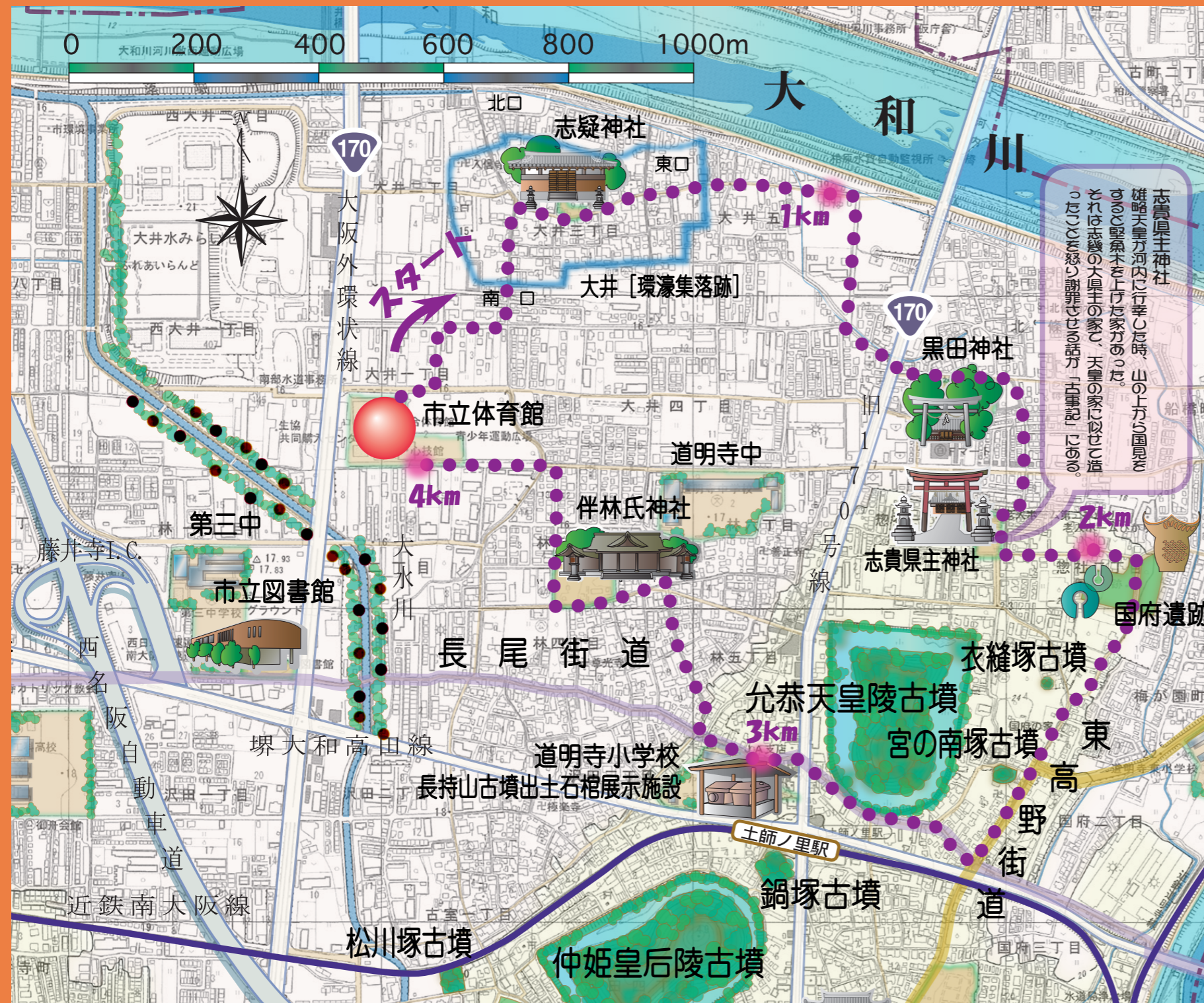


# 古社と国府遺跡・街道を歩く体験コース

中世の環濠集落の面影を残す大井から志疑神社・黒田神社・志貴県主神社の古社と国府遺跡から東高野街道・長尾街道を巡るコース。 [4.0 km 約50分]

ふじいでら  
ハルディックウォーキング



- スタート
- ↓
- 大井 [環濠集落跡]
- ↓
- 志疑神社
- ↓
- 黒田神社
- ↓
- 志貴県主神社
- ↓
- 国府遺跡
- ↓
- 〈東高野街道〉
- ↓
- 宮の南塚古墳
- ↓
- 允恭天皇陵古墳
- ↓
- 〈長尾街道〉
- ↓
- 伴林氏神社
- ↓
- ゴール

中世後期の環濠集落（濠を巡らせ防御機能を持つ集落）。「南口」「北口」「東口」などの字名が残っています。

平安時代の「延喜式」に見える古社。

平安時代の「延喜式」に見える古社。境内に南朝の年号である「建徳3年（1372年）」銘の石燈籠がある。

平安時代の「延喜式」に見える古社。「県」は古墳時代の大王家の直轄地でそれを治めているのが「県主」。

旧石器時代から中世に至る遺跡。多数の人骨が発掘されたことで有名。

古墳時代中期（5世紀後半）の直径40mの円墳。允恭天皇陵古墳の陪塚と考えられます。

京都から高野山への参詣道。数ある高野街道のうち、いちばん東側に位置しています。

古墳時代中期（5世紀後半）の墳丘の長さ230mの大型の前方後円墳。

堺から奈良県葛城市長尾神社付近にいたる街道。

平安時代の「延喜式」に見える古社。祭神の道臣日命は伴林氏の遠祖の一人で神武東征に従い天皇を熊野から導いたということから第2次大戦中に武運長久を祈るため再建された。境内の手水舎は靖国神社から移されました。